

地域の特色を活かす 「風景街道」と「道の駅」

『日本風景街道』は、道路を中心とした景観、自然、歴史、文化等の地域資源を活かし、地域活性化、観光振興に寄与することを目指すものであり、地方ブロック毎に組織されている風景街道地方協議会により審査され、登録されているものです。三遠南信地域では、現在5カ所が登録済みですが、今後多くの街道の登録が期待されています。

一方『道の駅』は、高速道路のサービスエリアやパーキングエリアのように、一般道路において誰でも利用できる休憩施設として誕生しました。三遠南信地域には、現在17カ所の『道の駅』が整備されており、ドライブやツーリングでの休憩場所にとどまらず、その土地ならではのグルメやショッピング、温泉が楽しめる所もあり、憩いと楽しみを満喫できる空間となっています。



道の駅「伊良湖クリスタルポルト」(田原市)



道の駅「信州平谷」(平谷村)



日本風景街道「浜名湖サイクリングロード」(浜松市)

三遠南信 紀行 道

三遠南信(さんえんなんしん)とは、
愛知県東三河地域、静岡県遠州地域、
長野県南信州地域の総称です。

わたしたちは三遠南信地域連携ビジョンの推進に協力しています。



旧東海道、姫街道の松並木
自転車や徒歩で、遠州再発見！

遠州エリア

東西交通の要衝として発展した遠州遠江。東海道路筋には、金谷宿、日坂宿、掛川宿、袋井宿、見付宿、浜松宿、舞阪宿、新居宿、白須賀宿の九つの宿場が栄え、その多くをしのぶ松並木を保存しようと住民の活動も盛んになっています。東海道、姫街道は東三河へと続きます。秋葉街道は「塩の道」として知られていますが、歴史と文化と信仰の道でもあり、南信州へと続きます。

現在、新東名自動車道や三遠南信自動車道の整備が進んでいますが、交通手段は、車だけではありません。日本風景街道の浜名湖サイクリングロードや、浜松御前崎自転車道など素晴らしい自転車道もあり。春を感じながら、遠州各地を自転車や徒歩で巡るスローな旅はいいがです。

また、国道1号沿いにある「潮見坂」「掛川」、北遠の「くま水車の里」「花桃の里」「つづく処横川」では、それぞれ個性豊かな地域の産品を販売しています。



道の駅「天竜相津花桃の里」(浜松市天竜区)

行き交う人々の心を癒す南信州の街道
道の駅を巡る「各駅停車の旅」

南信州エリア

南信州地域と三遠地域を結び、遠州街道、秋葉街道、三州街道などと呼ばれる国道が南北に走る南信州地域には、行き交う人々を癒してくれる4つの道の駅と3つの日本風景街道があります。国道151号沿い、新野の雪まつりの神様と大きな屋根が目印の道の駅「信州新野千石平」は、サクサクの山女弁と香ばしい味噌のにおいが食欲をそそる五平餅が人気。お城の外観が目印の道の駅「信濃路下條」では、そはの手打ち体験ができる「お城の城や」ミルク工房遊牧館が併設され、打ち立ての蕎麦や飲むヨーグルトが味わえます。



道の駅「遠山郷」(飯田市)



道の駅「信州新野千石平」(阿南町)

国道153号沿い、夏にたくさんのおひまわりで囲まれる道の駅「信州平谷」では、大きな露天風呂が人気の温泉施設「ひまわりの湯」(3月1日リニューアルオープン)が併設され、高原の青い空と澄んだ空気の中、気軽に温泉が楽しめます。国道152号沿い、霜月まつりの神々が出迎えてくれる道の駅「遠山郷」では、秘境の谷に湧いた天然温泉「かぐらの湯」と有名な山肉料理が堪能できます。

春を感じる渥美半島菜の花浪漫街道と
奥三河のユニークな道の駅

東三河エリア

東三河の南端、春の渥美半島を巡る国道42号、250号では、沿道に咲く眩しいほどの菜の花が一足早い春の訪れを告げています。渥美半島菜の花浪漫街道として日本風景街道に登録されているこの道は、この時期絶好のドライブコースです。そして街道沿いの道の駅には、特産品のメロンや海産物のほか、農業王国田原市ならではの新鮮な農産物がずらりと並びます。海に面した道の駅は眺望も最高で、「あかばねロコステーション」の展望デッキからは雄大な太平洋を臨むことができ、また、半島先端の「伊良湖クリスタルポルト」では鳥羽や知多半島、三河湾の島々との間を行き交う船が見え、旅情をかきたてられます。



道の駅「つづく高原グリーンパーク」(設楽町)



道の駅「つづく手作り村」(新城市)

一方、奥三河にはユニークな道の駅があります。「つづく高原グリーンパーク」にはペンション、バンガローなどの宿泊施設やテニスコート、バスターゴルフ場があり、また「つづく手作り村」には、五平餅づくりやチーズづくり、藍染など数多くの体験メニューが用意されており、一日中楽しむことができる施設となっています。